

(対象者：研究者、教育関係者、医療関係者、行政担当者ほか)



子どもたちに、「がん」をどう教えるのか。



UICC 世界対がんデー公開ワークショップ 「小学生からのがん教育」

●日時：2013年2月4日（月）14：00～17：00

●会場：独立行政法人 国立がん研究センター国際研究交流会館

●主催：UICC 日本委員会、日本対がん協会 ●共催：国立がん研究センター

■プログラム

14:00-14:05 開会挨拶

* 垣添忠生 (UICC 日本委員会 / 日本対がん協会)

14:05-14:15 問題提起：なぜ小学生からのがん教育か

* 北川知行 (UICC 日本委員会 / がん研究会がん研究所)

14:15-15:30 問題抽出：実践者からの報告

* 座長 望月友美子 (国立がん研究センター)

* 行政の立場から 小竹桃子 (東京都荒川区保健所)

* 患者の立場から 桜井なおみ (NPO 法人 HOPE プロジェクト)

* 医師の立場から 道永麻里 (日本医師会)

* 研究者の立場から 片野田耕太・助友裕子 (国立がん研究センター)

* 現場の立場から (映像出演) 宮原卓 (神奈川県開成小学校)・開成小学校の生徒たち

15:40-16:55 問題解決への道筋：参加者による発言と討論

* 座長 門田守人 (UICC 日本委員会 / がん研有明病院 / がん対策推進協議会)

16:55-17:00 閉会挨拶

* 田島和雄 (UICC / 愛知県がんセンター)

■参加お申し込み方法 (無料)

「日本対がん協会・世界対がんデー公開ワークショップ係」宛に、以下のいずれかの方法でお申し込みください。

①メール：office@jcancer.jp (メールで返信します。お名前をお書きください)

②FAX：03-5222-6700 (FAXで返信します。FAX番号とお名前をお書きください)

③往復はがき：(返信用はがきに、住所、氏名を書き、下記住所にお申し込みください)

日本対がん協会・世界対がんデー公開ワークショップ係

〒100-0006 東京都千代田区有楽町 2-5-1 マリオン 13 階 Tel.03-5218-4771

※FAX 送信フォームは裏面をお使い下さい。

■会場 (東京都中央区築地 5-1-1) へのアクセスは <http://www.ncc.go.jp/jp/access.html> をご参照下さい。



(対象者：研究者、教育関係者、医療関係者、行政担当者ほか)

「UICC 世界対がんデー公開ワークショップ」

●主催：UICC 日本委員会、日本対がん協会 ●共催：国立がん研究センター

2月4日は国際対がん連合（UICC、事務局スイス・ジュネーブ）が定める「世界対がんデー」です。

UICCは、毎年、世界中の対がん組織と連携し、キャンペーンを展開していますが、

私たちは、UICCの動きに呼応して、今回は、「小学生からのがん教育」をテーマに、

公開ワークショップを開き、問題を掘り下げ、解決策を探ります。

テーマに関心のある方なら、どなたでも参加できます。

参加は無料、定員は150人（申し込み先着順）です。

FAX 参加申込み送信票 FAX 03-5222-6700

「小学生からのがん教育」 ●日時：2013年2月4日（月）14：00～17：00

■フリガナ

■お名前

■返信用 FAX 番号

■UICC日本委員会について (<http://www.jfcr.or.jp/UICC/>)

1933年に創立されたUICCに日本は設立委員として参加し、1948年から日本学術会議が国の代表だったが、1960年初頭に吉田富三の呼びかけで13の国内の関係組織が集結し、UICC日本委員会 Japan National Committee for UICCが発足した。以後、桜井欽夫、井口潔、菅野晴夫、北川知行等を委員長として発展的に継続している。2013年現在の参加組織は正会員29（がん研究センター12、学会6、がん研究基金5、対がん組織3、がん専門病院2、大学1）と賛助会員4（民間企業）である。

●会場：独立行政法人 国立がん研究センター国際研究交流会館（東京都中央区築地5-1-1）

会場へのアクセスは<http://www.ncc.go.jp/jp/access.html>をご参照下さい。